

住民と協働する個別支援ワーカー研修会 開催要綱

1. テーマ 住民と協働する個別支援ワーカーの役割と活動実践の視点

2. ねらい

地域の福祉・生活課題が多様化し、潜在化する中で、公的なサービスの充実・強化とともに、住民同士でお互いの困り事に気づきともに助け合う地域社会の実現が求められています。

一方、住民が地域の福祉・生活課題の解決に取り組むためには、住民とともに支援を必要とする人に気づき、支援について調整し、あるいは新たな支援の仕組みづくりや地域社会への課題提起等に取り組むワーカーの存在が不可欠です。

社協では、深刻な生活課題や社会的な孤立防止をめざす「社協・生活支援活動強化方針」が示され、地域における総合相談や地域生活支援の機能を強化するために、こうしたワーカーの配置を推進することが求められています。また、国においても生活困窮者に対する相談支援体制の構築をめざした「生活支援戦略」の検討が進んでいます。

本研修会では、このようなワーカーの役割を再確認し、住民との協働による福祉・生活課題への気づき、ケースの発見、そして支援の構想における基本的な視点について、講義や事例解説等を通して学び、ワーカーとしての力量の向上を支援することを目的に開催します。

3. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 日時 平成 25 年 1 月 31 日(木)～2 月 1 日(金)

5. 会場 全国社会福祉協議会 5 階会議室

6. 対象
- 住民と協働して個別支援に取り組む社協職員
(コミュニティソーシャルワーカー、コミュニティワーカー、地区担当職員等)
 - 安心生活創造事業、地域福祉活性化事業受託社協の担当職員
 - 都道府県・指定都市社会福祉協議会職員

7. 事前提出課題等

- ① 市区町村社協からご参加の皆様には、事前提出課題があります。詳細は、別添の「事前提出課題について」をご覧ください。
- ② 都道府県社協からご参加の皆様には、研修会後に課題への取り組みをお願いします。別添の「都道府県社協担当職員用の課題について」をご覧ください。
- ③ 指定都市社協からご参加の皆様は、担当業務の内容に応じて、①か②のいずれかを選択してください。

8. 内 容

(1日目)

13:30～13:40	開会・挨拶・オリエンテーション
13:40～14:10	基調説明 「地域福祉をめぐる動向と住民と協働する個別支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）への期待」（30分） 全国社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉をめぐる施策の動向や社協等における地域生活支援の取り組みなどを知る。
14:10～15:30	講義 1「住民と協働する個別支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）の役割」（80分） 講師 同志社大学社会学部教授 上野谷 加代子 氏 住民と協働による個別支援が求められる社会的背景やその現状、地域の実情、住民と協働する個別支援ワーカーの役割等、基本について学ぶ。
15:30～15:45	休憩（15分）
15:45～17:15	講義 2「豊中市におけるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の位置づけと役割」（90分） 講師 豊中市社会福祉協議会事務局次長 勝部 麗子 氏 豊中市社協におけるコミュニティソーシャルワーカーとしての実践を通じて、住民と協働する個別支援ワーカーの役割や内容を理解する。また、現在、国が検討している生活支援戦略における総合相談のあり方などを踏まえ、これからの社協の総合相談・生活支援のあり方を考える。
17:30～	情報交換会

(2日目)

9:30～11:30	セッション 第1部「住民との協働によるニーズの発見と共有を考える」（120分） ファシリテーター 同志社大学社会学部准教授 野村 裕美 氏 助言者 同志社大学社会学部教授 上野谷 加代子 氏 豊中市社会福祉協議会事務局次長 勝部 麗子 氏 実際の相談事例等を用いて、住民と協働する個別支援ワーカーは、住民との関わりの中で「ニーズの発見」や「ニーズの共有」をどのようにすすめていくのか。その基盤となる地域への働きかけ、地域づくりの視点を、セッションや参加者同士のディスカッションのなかで学ぶ。
11:30～12:30	昼食・休憩（60分）

12:30～14:30	<p>セッション</p> <p>第2部「ニーズの見立て方、支援の構想の仕方を考える」(120分)</p> <p>ファシリテーター</p> <p>同志社大学社会学部准教授 野村 裕美 氏</p> <p>助言者</p> <p>同志社大学社会学部教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>豊中市社会福祉協議会事務局次長 勝部 麗子 氏</p> <p>実際の相談事例等を用いて、相談内容（支援ニーズ）における住民との協働の必要性の見立て、協働に必要な情報収集や関係者への働きかけ等、住民との協働による個別援助を構想していくための思考や行動方法について、セッションや参加者同士のディスカッションのなかで学ぶ。</p>
14:30～14:45	休憩 (15分)
14:45～15:45	<p>研修会の振り返り・まとめ (60分)</p> <p>助言者</p> <p>同志社大学社会学部教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>豊中市社会福祉協議会事務局次長 勝部 麗子 氏</p> <p>進行 全国社会福祉協議会 地域福祉部</p> <p>グループ討議と助言者との意見交換によって、研修を通じて、受講者が気づいたり、学んだことを全体で共有する。</p>
15:45～16:00	開会

9. 定 員 80 名

10. 参加費 4,000 円

12. 交流会費 500 円 ※希望者のみ

11. 昼 食 1,000 円（弁当／お茶付き・税込）※希望者のみ

12. 申込締切 平成 25 年 1 月 25 日（金）
 [定員になり次第、締切とさせていただきます]
 ※事前提出課題の提出期限も 1 月 25 日（金）です。

13. 申込方法

○別添の参加・宿泊・昼食申込書により、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店宛にお申し込みください。折り返し同社より参加券および参加費の振込依頼書等をお届けいたします。

14. 個人情報の取り扱い

本研修につきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)新霞が関支店」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加・昼食・宿泊申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみ利用させていただきます。なお、本研修会の資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

15. 研修内容に関するお問い合わせ先

全国社会福祉協議会 地域福祉部 担当：菊池、佐川

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858
Eメール：z-chiiki@shakyo.or.jp

※参加等の申込・参加券の送付・参加費の支払いについては、別紙の「参加・昼食・宿泊のご案内」をご覧ください。名鉄観光サービス新霞が関支店にお問い合わせください。

メモ

